

# 「早期離職」に関する実態調査

入社から半年で早期離職が発生した場合、企業の損失額は「640万円」。  
早期離職経験者は31%。後悔の最多は「転職活動が大変になった」。

— 『エン転職』ユーザーアンケート —

エン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：越智通勝）が運営する8年連続満足度No.1（※）の総合転職サイト『エン転職』（<https://employment.en-japan.com/>）上で、ユーザーを対象に「早期離職」についてアンケートを行ない、2,502名から回答を得ました。また調査とあわせ、採用6カ月以内に退職した場合に企業が被る損失を試算しました。社員の「早期離職」が及ぼす求職者・求人企業双方への影響の実態を明らかにします。

※2018年～2025年オリコン顧客満足度調査「転職サイト」ランキング総合1位（<https://career.oricon.co.jp/rank-job-change/>）

## 結果 概要

- ★ 31%が入社から半年以内の「早期離職」を経験。  
うち、後悔した方は20%。後悔した理由は「転職活動が大変になった」が最多。
- ★ 早期離職した際の職種、上位は「営業系」「バックオフィス・事務系」。
- ★ 早期離職の理由、上位は「入社前に聞いていた情報と違った」「ハラスメントに遭った」。  
44%が「事前にネガティブな情報も聞いていれば、早期離職をしなかった」と振り返る。
- ★ 入社から半年で早期離職が発生した場合、企業の損失額は「640万円」。

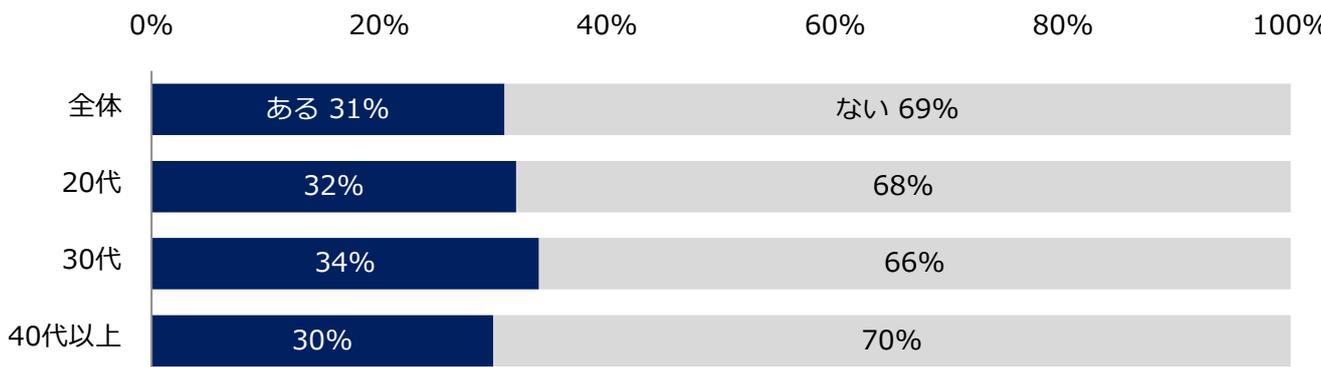
## ■ 調査結果 詳細

1：31%が入社から半年以内の「早期離職」を経験。  
うち、後悔した方は20%。後悔した理由は「転職活動が大変になった」が最多。（図1～3）

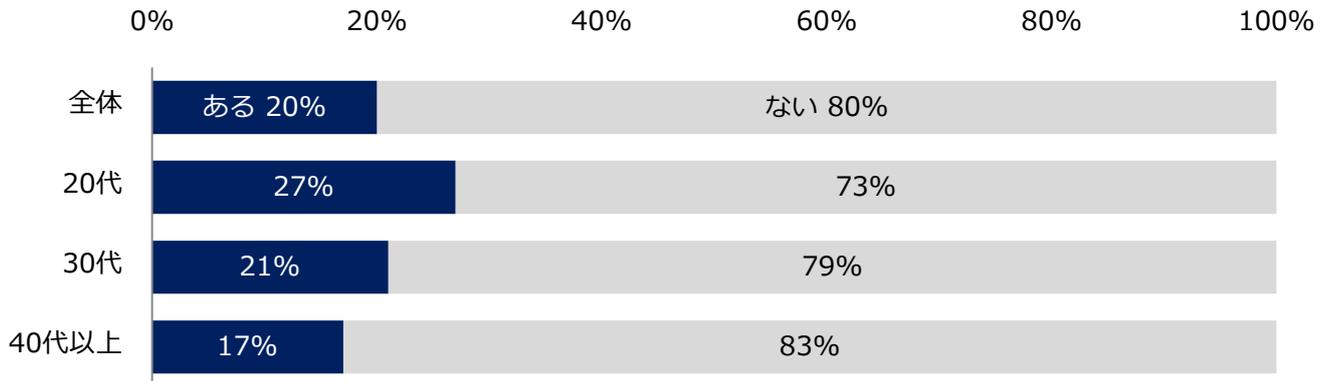
「入社して半年以内の“早期離職”を経験したことはありますか？」と質問すると、31%が「ある」と回答。年代別での大きな差はありませんでした（20代：32%、30代：34%、40代以上：30%）。

続けて早期離職の経験者に、早期離職を後悔したことがあるかを伺うと、20%が「ある」と回答。年代別では20代：27%、30代：21%、40代以上：17%で、若い年代ほど後悔する傾向にあることが分かりました。また、後悔した理由第1位は「転職活動が大変になった」（66%）でした。具体的なエピソードも紹介します。

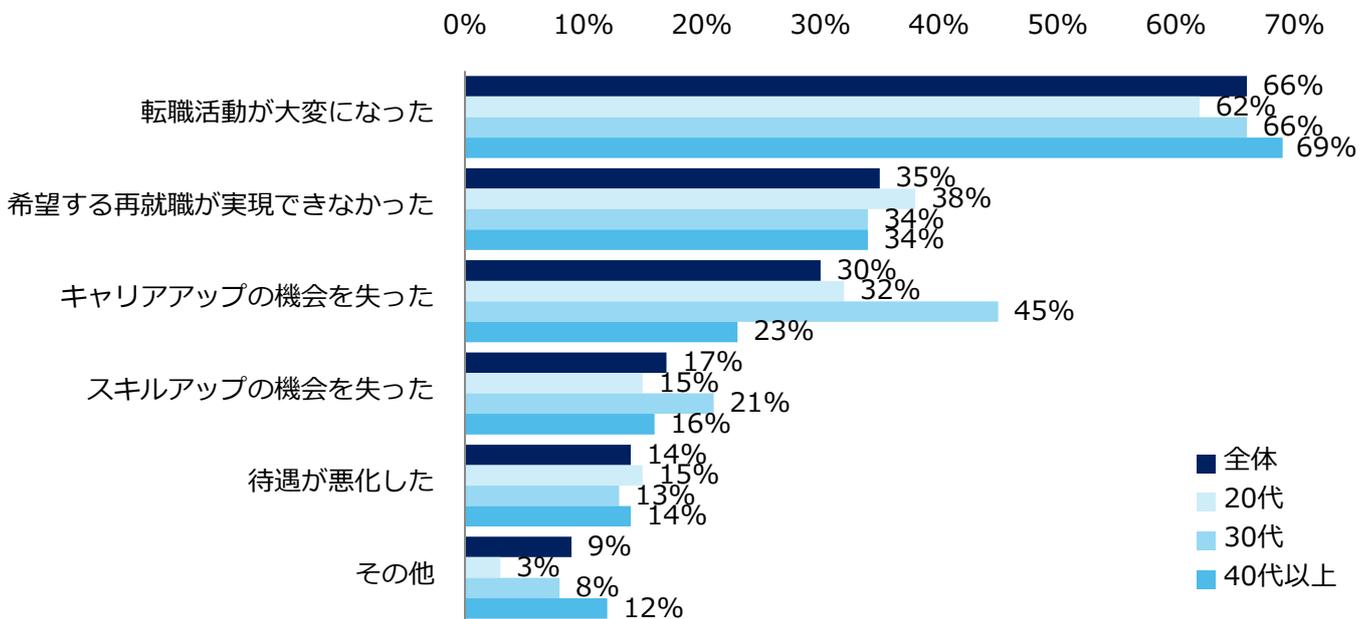
【図1】入社して半年以内の「早期離職」を経験したことはありますか？（年代別）



【図2】早期離職を経験したことがある方に伺います。早期離職を後悔したことはありますか？（年代別）



【図3】早期離職を後悔したことがある方に伺います。後悔した理由を教えてください。（年代別／複数選択可）



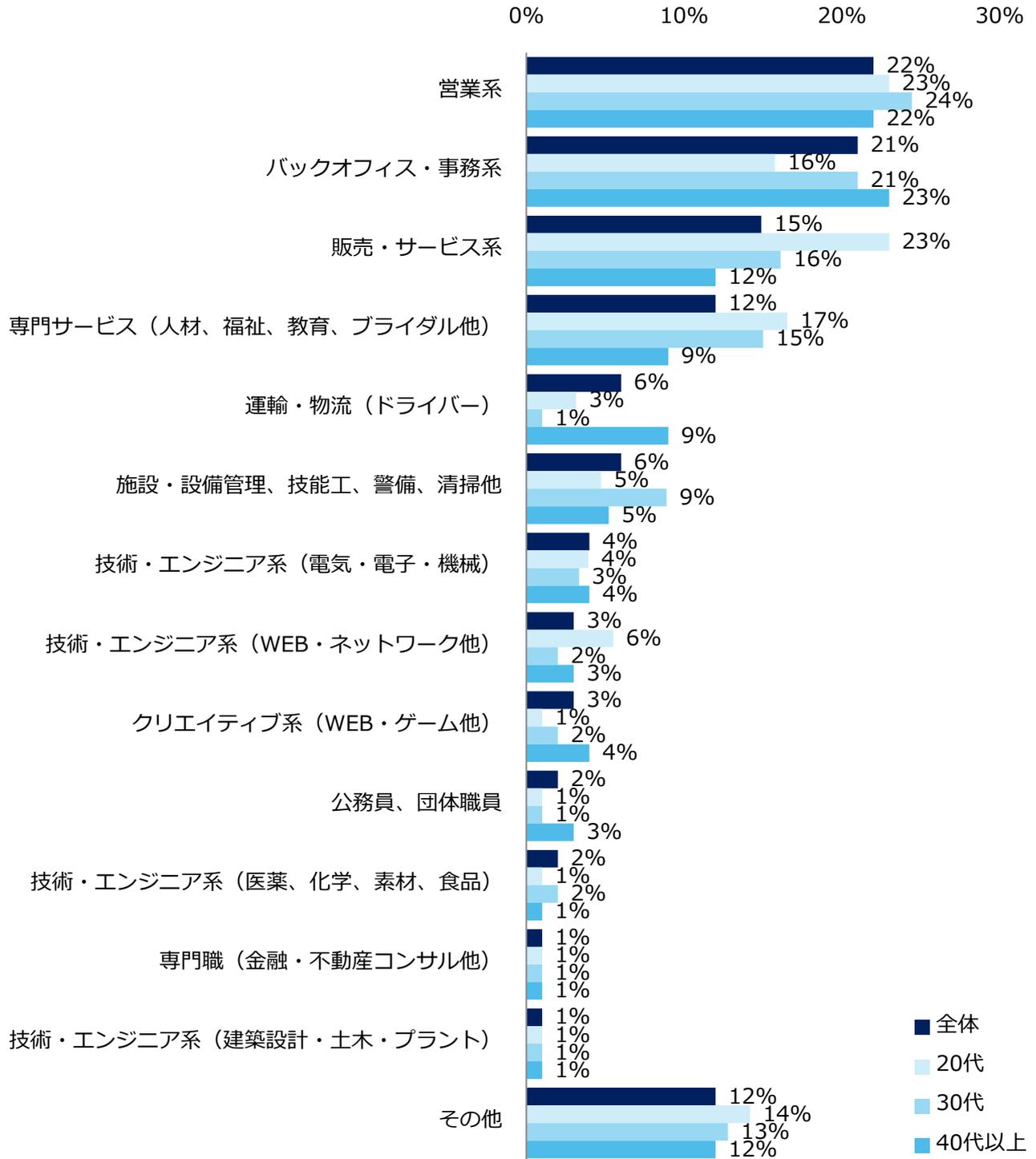
**Q. 早期離職を後悔した、具体的な理由やエピソードを教えてください。**

- ・現在、書類選考の時点で落とされてしまいなかなか次の仕事が決まらない。（20代女性）
- ・面接を何社か受けたが、子どもが小さかったので「急な休みを取られると困る」という理由で雇ってくれる会社がなかった。早期離職した会社でもう少し耐えられていればと後悔した。（20代女性）
- ・今も働いている同期は役職に就いた。私自身も資格に合格していたため、我慢していたら役職に就いていたのかなと思い後悔している。（20代男性）
- ・早期離職となるとやはり印象もよくないので、次の仕事が決まるまでに時間がかかった。結局、やりたい仕事ができずに雇って貰えるところを探すのに必死だった。（30代女性）
- ・希望する地域では他に応募できる求人がなかった。早期退職の理由ばかり聞かれて、正直に回答しても理解されず根性がないと思われた。（40代女性）
- ・公務員の早期離職だったので、面接ではやはり珍しさからか質問されることも多く、おそらくそれが原因で落ちることも多かった。（40代男性）
- ・履歴書、職務経歴書に記載する必要があり、説明も容易ではないため苦戦している。（40代男性）
- ・やはりある程度の期間は働いてないと転職に不利。若気の至りだった。（50代女性）
- ・再就職に時間がかかった。失業手当をもらえなかった。（50代男性）

2：早期離職した際の職種、上位は「営業職」「バックオフィス・事務系」。(図4)

早期離職を経験したことがある方に、辞めた際の職種を聞きました。上位は「営業系」(22%)、「バックオフィス・事務系」(21%)でした。

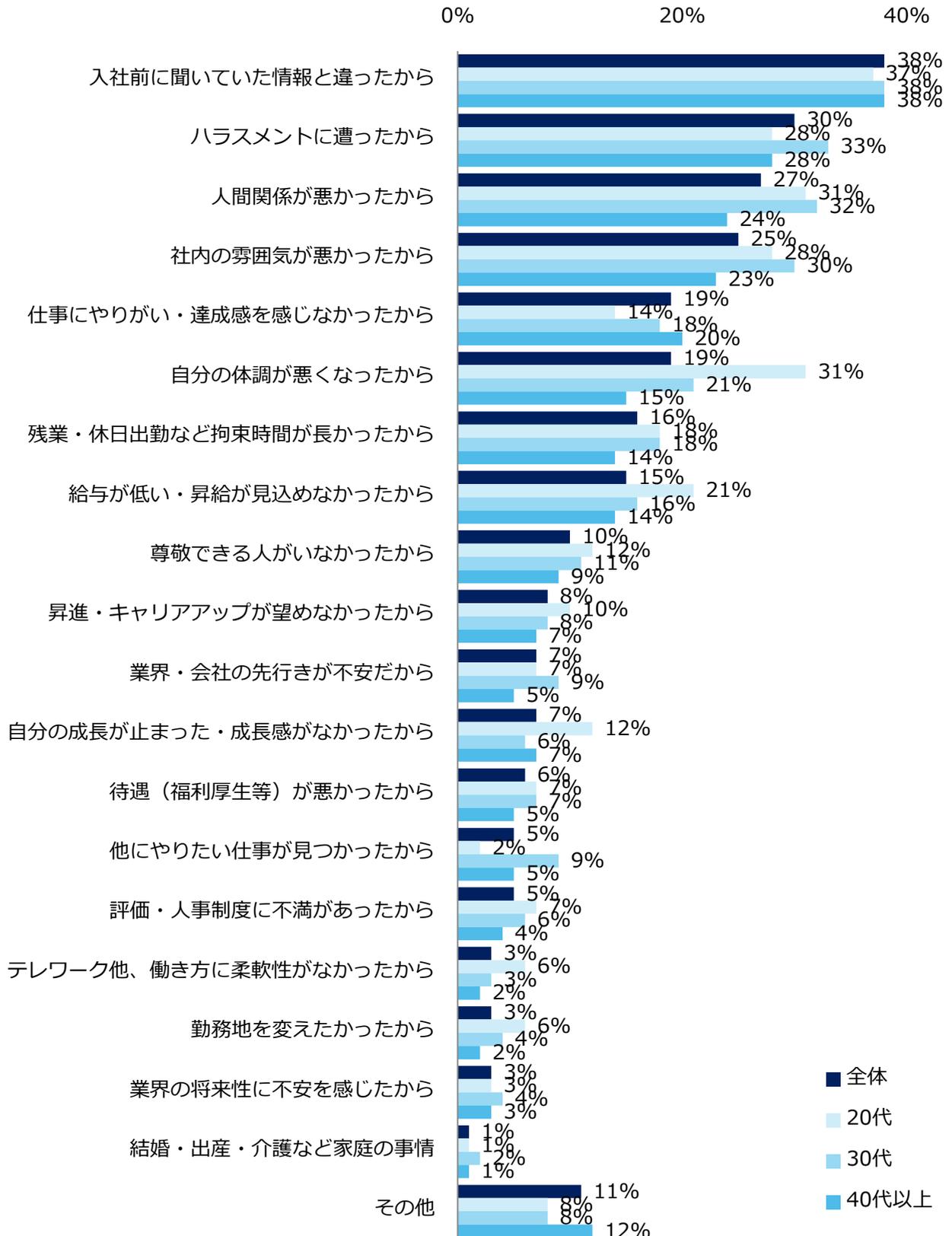
【図4】早期離職を経験したことがある方に伺います。  
辞めた際の職種は何でしたか？(年代別/複数選択可)



### 3：早期離職の理由、上位は「入社前に聞いていた情報と違った」「ハラスメントに遭った」。 44%が「事前にネガティブな情報も聞いていれば、早期離職をしなかった」と振り返る。（図5～6）

早期離職を経験したことがある方に離職の理由を聞くと、上位は「入社前に聞いていた情報と違ったから」（38%）、「ハラスメントに遭ったから」（30%）でした。具体的なエピソードも紹介します。続けて「どんな条件・制度、事前情報があれば早期離職しなかったと思いますか？」と伺うと、上位は「事前にネガティブな情報も聞いている」（44%）、「良好な人間関係がある」（43%）でした。

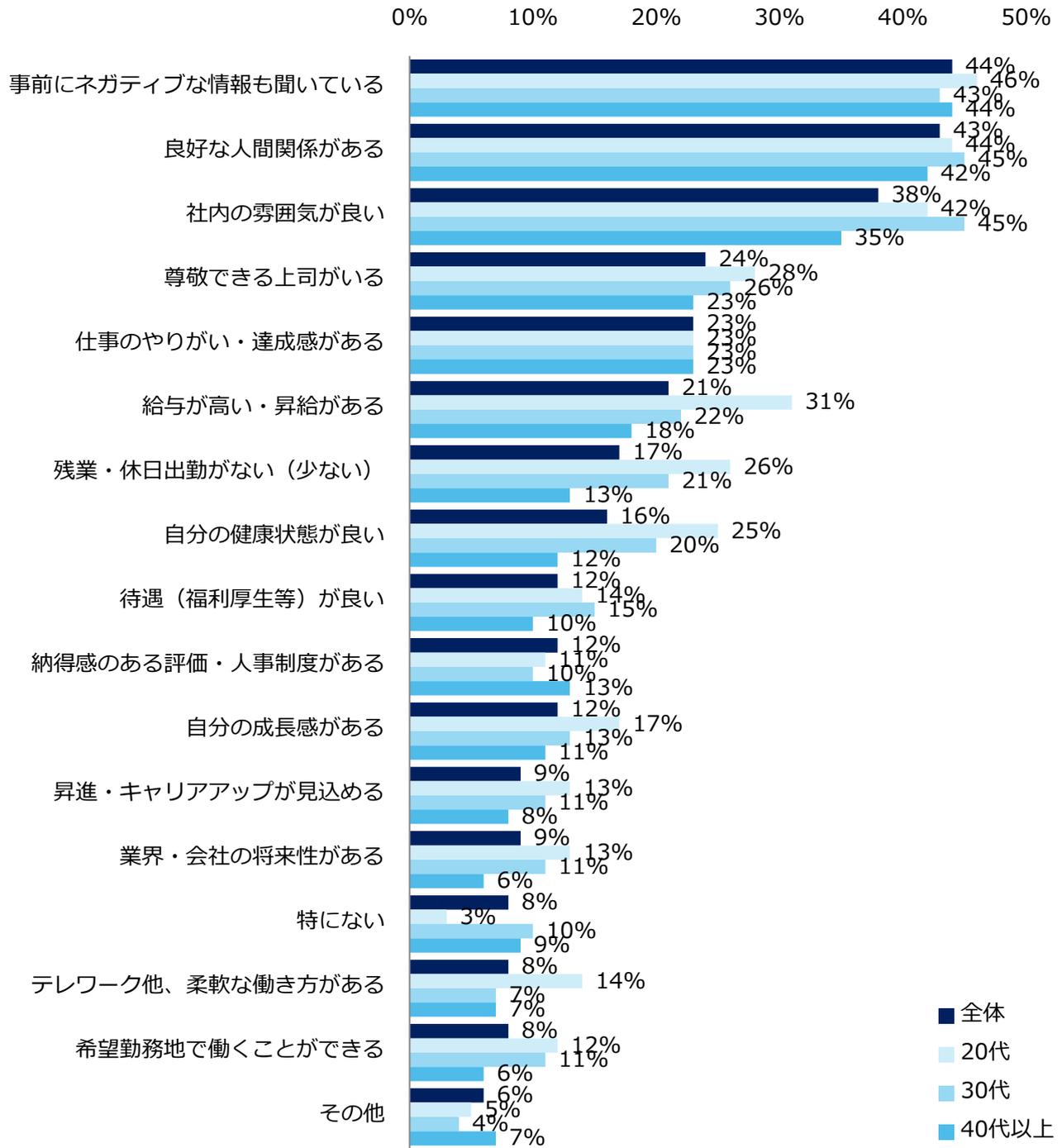
【図5】早期離職を経験したことがある方に伺います。離職をした理由は何ですか？（年代別／複数選択可）



**Q. 早期離職に至った理由や、エピソードを教えてください。**

- ・未経験でも大丈夫とのことで入社したが、教育担当の方含めて周りの方がみんな忙しすぎて放置されてしまい、まだ教育が十分ではない状態で仕事を任されてついていけなかったから。（20代女性）
- ・配属先に派閥があり、やりづらさを感じた。Aさんに教えてもらったやり方で仕事をしているとBさんに叱られるため、どうすればいいのかわからない場面が多々あった。（20代女性）
- ・入社前に聞いていた年間休日が20日も違い、柔軟な対応がなかった。また、やり取りが全てLINEで不安要素しかなかった。（20代女性）
- ・面接時に聞いていた仕事内容と、実際に働き始めた時の仕事内容が違ったため（20代男性）
- ・身内で構成された会社で、モラハラやパワハラ、言葉のセクハラが日常的に行なわれていて注意する人もいなかった。システム障害時の対応がマンパワーなこともあり、これから契約数が増える度に対応が難しくなると感じたが、何も対策をしていなかったので先行きが不安になった。（30代女性）
- ・デザイナー職で入社したが、会社独自ルールを設けた事務仕事を多く任せられ、また教育制度も整っておらず、よく分からないまま叱責されることが多く、ストレスの多い環境で早期離職を決意。（30代女性）
- ・駅から職場までが遠かった。職場が狭すぎて窮屈だった。（30代女性）
- ・入社前に聞いていたような手厚い教育制度が全くなかった。入社初日に即実践でギャップを感じた。（30代男性）
- ・求人内容や面接の際に確認した内容と異なる事が多々あった。（40代女性）
- ・新システム導入時の指導で深夜0時を回ることが連日あり、体調を崩したため。（40代女性）
- ・キャリアプランについては面接で伝えており、すぐには難しくてもいつか叶うといいなと思っていたが、そもそもその部署への異動はかなり確率が低く、ほぼ無理だと上司にも言われ、モチベーションを保つことが難しくなったため。（40代男性）
- ・少しパワハラ気質があり辞めたいと思っていた時期、ヘッドハンティングしていただいた。（40代男性）
- ・新人研修の横で、管理者が職員を罵倒していた。（50代女性）
- ・入社前に人事担当の方に研修があると聞いていたが、研修は一切なく、いきなり知識なしでの営業活動を強要された。（50代男性）

【図6】 早期離職を経験したことがある方に伺います。  
 どんな条件・制度、事前情報があれば早期離職しなかったと思いますか？（年代別／複数選択可）



4：入社から半年で早期離職が発生した場合、企業の損失額は「640万円」。

●退職による損失額／1名

最大 **640** 万円

※入社から6カ月で退職した場合

●内訳（年収600万円ほどの人材が、6カ月で早期離職をした場合）

採用費用	180万円	人材紹介エージェントへの成功報酬など、採用活動で発生した費用
採用関連人件費	20万円	人事担当者や現場管理職が、書類選考や面接に要した人件費
在籍人件費	360万円	在籍期間中（6カ月）に支払った給与・社会保険料など
教育研修費	18万円	退職者に対して実施した入社研修やOJTにかかった費用
業務引継ぎ費用	20万円	後任者への業務引継ぎに要した人件費（10日分の給与と仮定）
引留め面談費用	6万円	退職の申し出を受け、上司が面談に要した人件費
マネジメント費用	36万円	退職のマネジメントを行なった上司の人件費
<b>合計</b>	<b>640万円</b>	

#### 【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『エン転職』（<https://employment.en-japan.com/>）を利用するユーザー
- 調査期間：2025年7月1日～8月3日
- 有効回答数：2,502名

#### 8年連続総合満足度No.1（※）の総合転職サイト『エン転職』



<https://employment.en-japan.com/>

会員数1000万人超を誇る、日本最大級の総合転職サイトです。エンの担当者が求人企業1社1社を訪問・取材。良い点もそうでない点も正直に記載した求人情報や、豊富な動画・写真を通じて、できる限り職場のリアルな情報をお届け。加えて社員のクチコミや、それに対する企業担当者のコメントなど、多面的でオープンな情報提供を実現し、ミスマッチの少ない転職と入社後の活躍を支援しています。

※2018年～2025年オリコン顧客満足度調査「転職サイト」ランキング総合1位（<https://career.oricon.co.jp/rank-job-change/>）

本ニュースリリースに関する  
お問い合わせ先

エン・ジャパン株式会社 広報担当

TEL：03-3342-6590 MAIL：en-press@en-japan.com

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

<https://corp.en-japan.com/>